



羽合小学校 学校通信

平成26年10月9日 NO.74

実りの時

10月2日・3日、6年生が1泊2日の修学旅行に出かけました。広島の大島神社や平和記念公園、原爆資料館など世界遺産や歴史の舞台を訪ね、歴史の息吹を感じ、平和について深く学ぶ機会になったのはもちろん、今年の土砂災害復興のために募金を集め、広島市の担当者の方にお渡しするなど、新しい取り組みも行いました。子どもたちそれぞれが学び、考え、感じたたくさんのことを学校に持ち帰り、これからの生活の中に生かすと共に下級生に伝えていくことと思います。

私はこの旅の中で、6年生の集団行動での規律のすばらしさやまとまりの良さを再発見しました。なにより、さりげない気配りや気遣いができる事に感動しました。

ひとつ目は修学旅行に出発した日のこと、まだ体がバスに慣れていなくて、バス酔いになった児童がいました。急遽バスを停車して対応するようなこともあったのですが、宮島からフェリーで帰って来たときに、運転手さんやガイドさんに「ありがとうございます。」と感謝の言葉と共に、自分の小遣いの中からもみじまんじゅうをひとつずつおみやげにお渡ししたのです。感謝の気持ちをどう伝えるか、自分で考えた行動でした。

ふたつ目は被爆体験談を聞いた後の児童代表のお礼の言葉です。自分たちが今までに平和学習で学んだこと考えたことに加えて、お話しただいたことへの感想や感謝の気持ちを盛り込んだスピーチです。準備する時間はほとんど無かったと思います。そのような難易度が高い場面でしたが、よどみなく自分の考えをまとめ伝えることができました。私が耳にしたスピーチの中で最もすばらしいもののひとつです。

もうひとつは平和記念公園を中心とするフィールドワークの時でした。爆心地の記念碑の前にお菓子の袋でしょうか、ゴミが落ちていたので拾ったところ、ちょうどその場に居合わせた児童が「校長先生、私が持ちましょうか？」と言ってナップサックの口を広げようとします。びっくりすると共に、このような気遣いができる児童が育っていることを大変うれしく思いました。「私が捨てますよ」と言ってその場を離れるとき「ありがとう」を言い忘れたことに気付きました。私の方が人間ができていないなあと反省しました。しかし、広島の青い空は一層青く清々しく感じられました。

子どもたちを指導いただいた6年担任の先生方、保護者の皆さん本当にありがとうございます。修学旅行は、子どもたちが実りの時を迎えつつある事を実感する旅でもありました。

【就学時検診です】

今日は来年度入学予定の子どもたち108名が検診に来校します。来年度の1年生も今年と同じく4クラスを予定しています。新入生の話をするような時期になりました。今年度も半ばを過ぎて各学年ともまとめの時を迎えます。

羽合小学校 寺谷英則